

成蹊小学校

【理事長】 佃 和夫

【校長】 大場 繁

〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 TEL 0422-37-3839 (代) <http://elementary.seikei.ac.jp/>

【交通】 JR中央線・総武線・東京メトロ東西線・京王井の頭線吉祥寺駅

ゆとりの教育で自主性、創造性、実践力をはぐくむ学園

たくましい実践力を持った人間の育成

不言実行、実践力重視の人物教育による、人間性豊かで“たくましい実践力をもった人間の育成”を教育方針の基本に掲げています。

創立100周年を迎えて

成蹊小学校創立100周年●本校は、2015年に創立100周年を迎えました。100周年を小学校のさらなる飛躍の機会にすべく、教職員が一丸となって培ってきた伝統の理解を深めるとともに、より良い発展につながる新たな教育の創造をめざしていきます。子どもと教師の真剣な学びあいの中で身につけていく「たしかな力」と、創立以来追及し続けている「たくましい心」が両輪となり、成蹊の新しい一歩がここから始まります。

学級編制●東組、西組、南組、北組の4学級、男女同数編制で、1年生と3年生終了時に組み替えを行い、学級担任がかわるシステムで教育を行っています。

少人数による充実した授業を展開

専科制と教科担任制●音楽、美術、体育、英語は1年生から、理科は3年生から、その教科専任の教師による授業を行っています。5年生からは学年内完全教科担任制になり、各学級担任が国語、社会、算数、こみちのうち1教科を担当して授業を行います。

少人数教育●2008年度より、全学年が「少人数教育」(1学級低学年28人・高学年32人)に移行しました。

クラブ学習・「学校桃の会」●5、6年生と専任教員が各々の部に属し、正課の授業として「クラブ学習」・「学校桃の会」を行っています。

日記指導●1年生から6年生までの全学級にわたって日記指導を行っています。これは、学校創立当時の日記指導が伝統となって、ごく自然に受け継がれてきたものです。日記指導とおして子どもと教師の心の交流を深め、また、書くことによって現実から学び取っていく姿勢なども育っていきます。

上級学校に進むには

日常の学習状況や生活態度などを勘案して、成蹊中学校へ推薦入学することができます。

8つの教育の力点のもと 教師一丸になって教育に当たっています

本校では、幼児期に一方向的に偏った指導をせず、友だちと遊んだり話したりすることのできる子どもを育てるように努めています。そのため、次のような点に教育の力点を置いています。

①集団と個の関係を深く考える活動の重視、②自主的に学習に取り組み生活をも高める意欲の育成、③創作活動の重視、④意志と体の鍛錬、実践力の育成、⑤生きた現実や実物から学ぶ意欲の育成、⑥人間的なふれあいの重視、⑦能力に応じた適切な指導、⑧望ましい環境づくり



沿革

明治39年、中村春二が私塾「成蹊園」を本郷に創立。同45年、岩崎小弥太、今村繁三らの協力を得て「成蹊実務学校」を池袋に開校。大正3年に成蹊中学校、翌4年に成蹊小学校を開校。同8年、財団法人成蹊学園を設立。同13年学園を吉祥寺に移転した。

2017年度募集要項

募集人員：男子56人、女子56人
出願期間：10月1日～10月3日(郵送のみ)
審査料：30,000円
保護者面接：男女とも11月2日～11月4日のうち1日
選考日(素質検査)：
男子 11月1日午前と11月2日～11月4日のうち1日
女子 11月1日午後と11月2日～11月4日のうち1日
選考内容：素質検査、保護者面接
合格発表：11月5日

【かかる費用】

入学金：300,000円
授業料：730,000円
施設費：210,000円
その他諸経費等を必要とする。
初年度納入金総計：1,373,720円

併設中学進学状況

◆成蹊中学校(男子、女子約90%)
※成績等が基準に達した者は全員が進学可能

データパック

◆児童数709人/教員数49人(うち専任40人、講師9人)
◆16年度応募者数：男子359人、女子301人
◆合格者数：男子66人、女子66人

【併設校】

○成蹊中学校・高等学校
○成蹊大学